

# 防犯カメラの情報セキュリティについて

## 防犯カメラへ不正アクセスされる被害が発生しています！

ネットワーク（IP）カメラを初期パスワードのまま利用していたなどの原因により、防犯カメラに不正にアクセスされ、個人情報流出の危険性が生じる事例が発生しています。

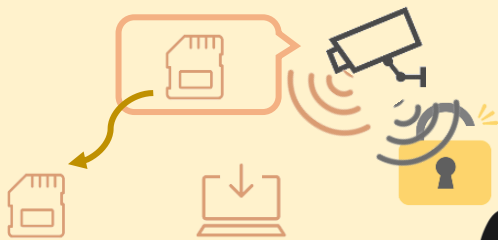
スタンドアロン（記録一体型）カメラでも映像データのダウンロードに無線LANを使用している場合、不正アクセスのリスクがあります。

東京都で補助している防犯カメラには主に二種類ありますが、お使いのカメラがどちらのタイプかご確認のうえ、以下のチェックリストも参考に、情報管理にご留意ください。

### スタンドアロン（記録一体型）カメラ

カメラ本体とSDカードレコーダーが一体となった防犯カメラ

記録した映像データは、無線LANでパソコンにダウンロードする方法と、SDカードを直接抜き取る方法がある



※都が補助したカメラは  
こちらが多くなっています

### ネットワーク（IP）カメラ

インターネットやローカルネットワークを通じてデータを転送し、リモートで映像を監視・記録または共有することができる防犯カメラ



## 防犯カメラ安全利用のためのチェックリスト

- むやみにカメラをインターネットに接続しない
- カメラのパスワードは初期値から変更する
- Web以外の不要なサーバ機能は停止する
- カメラの製品サイトを確認し、バージョンアップする

（参考）IPA「ネットワークカメラシステムにおける情報セキュリティ対策要件チェックリスト」を基に作成



詳しくはIPAで公開している「ネットワークカメラシステムにおける情報セキュリティ対策要件チェックリスト」を参照してください。

[https://www.ipa.go.jp/security/jisec/about/knowledge/cdk3vs00000024v1-att/checklist\\_nwc.pdf](https://www.ipa.go.jp/security/jisec/about/knowledge/cdk3vs00000024v1-att/checklist_nwc.pdf)



設置しているカメラのセキュリティに関するお問合せ・ご相談は、各メーカー・保守点検業者等をお願いします。

## 【防犯カメラの調達（RBSSの推奨）について】

公益社団法人日本防犯設備協会では、防犯機器に必要とされる機器と性能の基準を策定し、その基準に適合した機器を「優良防犯機器」と認定しています。

優良防犯機器は、撮影画質など防犯に必要な要求機能を満たすとともに、セキュリティに優れた機種があります。信頼性の高い機器を設置することで、地域の防犯対策が更に向上することが期待されます。

地域団体の防犯カメラの調達に当たっては、公益社団法人日本防犯設備協会が優良防犯機器認定制度（RBSS）において認定した防犯カメラを調達するよう働き掛けてください。

また、本補助事業はいわゆる街頭防犯カメラの設置を想定した補助事業です。防犯カメラの設置にあたっては、ネットワークカメラの自力での設置等は避けて、警察署の他に防犯設備士や防犯アドバイザーの助言を受けて安全・効果的な設置を図るなど、補助事業実施のうえで配慮いただきますようお願いいたします。

（参考）RBSSについて

[公益社団法人 日本防犯設備協会 | RBSSとは](#)

[RBSS防犯カメラ目録](#)

[公益社団法人 日本防犯設備協会 --防犯カメラ目録--](#)

## 【JC-STAR（IoT製品に対するセキュリティラベリング制度）について】

近年、ネットワークに接続された防犯カメラ等の普及に伴い、情報流出のリスクが高まっており、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）では、令和7年3月からIoT製品に対するセキュリティラベリング制度（JC-STAR）を運用しています。

JC-STARは、共通的な物差しでIoT製品に具備されているセキュリティ機能を評価・可視化し、政府機関、民間企業から一般消費者まで、IoT製品の購入者・調達者が、本制度のラベルを確認することで、自らが求めるセキュリティ水準の製品を容易に選択できるようにすることを目的としています。

今後、本制度のラベル取得製品の普及や、より高い水準のラベル・認証の整備等が進められる見込みですので、参考にしていただければと思います。

（参考）セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR）について  
[セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR） | 情報セキュリティ | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構](#)